

# 第2回コロナワクチン勉強会

令和6年10月26日

つばさクリニック  
石川 亨

# レプリコンワクチンとは？

レプリコンワクチンは、接種されたヒトの細胞内で mRNA が自己増幅するよう設計されており、既存の mRNA ワクチンより少量の接種で高い中和抗体が長期間持続するとされています。

従来に比べ少量接種で済むため、副作用が少ないかのように言われている。

しかし、mRNAの自己増幅やスパイクタンパクの産生がどれくらいでストップするのか十分にわかっていない。

人によっては、従来のmRNAワクチンより大量のスパイクタンパクが産生されてしまい、**これまで以上の重篤な健康被害**が及ぶ危険性も十分に予想される。

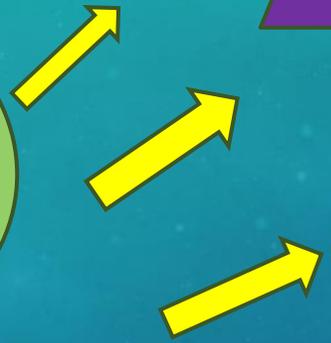
產生されたmRNAやスパイクタンパクが細胞膜の一部をまとって「エクソソーム（細胞外小胞の一種）」等として飛び出し、ウイルスが感染するように**非接種者にも広がってしまう**と指摘する研究者もいます。そうした現象がどれくらいの頻度で起こり得るのか説明はされていませんが、懸念が十分に払拭されているとは言えません。

# mRNAワクチンの仕組み

mRNA



細胞



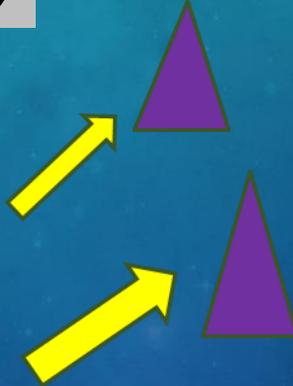
スパイク蛋白

# レプリコンワクチンの仕組み

mRNA



細胞



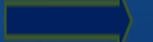
mRNA



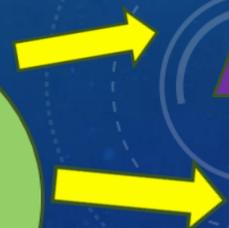
細胞



mRNA



細胞



# 副作用の差

## コスタイベ

## コミナティ

発熱

20.0%

18.6%

悪寒

30.0%

25.2%

頭痛

39.3%

30.6%

倦怠感

44.8%

43.1%

## シェディングの問題

レプリコンワクチンが「自己複製するmRNA」であるために、接種者から非接種者に感染(シェディング)するのではないかとこの懸念

現在までにシェディングに関する臨床研究は皆無

厚労省の見解

シェディングがあるという知見はない

シェディングがないという知見もない！

長期的な観察が必要

# シェディングに対する見解

理論的にはあり得る。

ただし、それによる被害はそれほど危惧する必要はない人によっては何かを感じることはあるかもしれない。

コロナに感染する等、巷で騒がれているような健康被害は生じないと思われる

いずれにせよ、今のコロナは重症化リスクは低く、効果もリスクも未知の「ワクチン」を接種する合理性はない

2022年5月16日

## 新型コロナ「東京都の時短命令は違法」

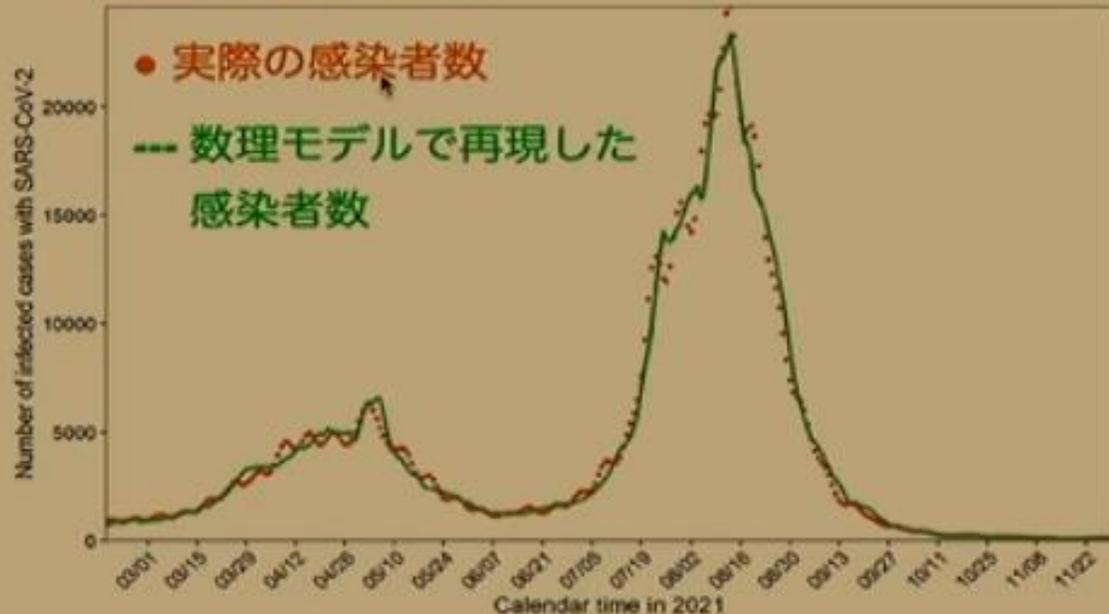
16日の判決で東京地方裁判所の松田典浩裁判長は「原告の飲食店は感染対策を実施している、**夜間営業を続けていることで直ちに感染リスクを高めていたとは認められない**。都からはこうした状況で命令を出したことの必要性や判断基準について合理的な説明もなかった。原告に不利益となる命令を出す必要が特にあったとはいえず違法だ」と指摘しました。



# 新型コロナワクチンがなければ 感染者・死者はもっと増えていた？

Kayano et al, *Sci Rep* 2023 (京都大学 西浦博教授による数理モデル)

2021年 3月～11月



→ この計算法を用いて、  
もしワクチン接種を行わなければ  
**感染者 6330万人**  
**死亡者 36万人** が生じたと推計

現実の数字は  
**感染者 470万人**  
**死亡者 1万人** であった

ワクチン接種によって  
35万人の命が救われた、と主張

計算に使用されたPC用のパスワードやパラメーターが  
公開されていない

(結論が導かれた元のデータが公開されていない)

複数の学者が提供を依頼する再三のメールを送信  
しかし、一切返信なし

# 東京都におけるオミクロン株に対する ワクチンの感染予防効（第6波）

西浦博京都大学教授（通称8割おじさん）

年齢	感染が予防できた人数	人口
0～9	1,375,249	1,027,752
10～19	1,324,726	1,071,637
20～29	2,264,996	1,755,278
30～39	2,267,999	1,884,539
40～49	2,265,627	2,133,393
50～59	1,530,498	2,084,997
60～69	842,916	1,386,774
70～79	630,597	1,404,390
80～	636,801	1,092,905

10月21日共同通信

日本感染症学会、日本呼吸器学会、日本ワクチン学会が高齢者へのワクチン接種を推奨

長谷川直樹・日本感染症学会理事長は現在の感染状況は落ち着いているが「冬には再び流行する」と予想。5種類の定期接種対象ワクチンについて「**いずれも流行中の変異株に効果が期待できる**。医師とよく相談し、ぜひ接種してほしい」と話している。

見解では、**日本では新型コロナに感染したことがない高齢者が多く引き続きワクチンによる免疫の獲得が重要と指摘**。

**いずれも流行中の変異株に効果が期待できる** ← **単なる願望、根拠なし**

**日本では新型コロナに感染したことがない高齢者が多く** ← **犯罪レベルの偽情報**

# 政府が唱えるワクチンの効果

感染予防効果

自分のため、周りのため

重症化予防

後遺症予防

抗体価の上昇

# Pro・Con

新規の治療法に対して推進する立場と反対する立場に分かれて  
行う検討会

ワクチン推進派vsワクチン慎重派のPro・Conが必要！

心ある国会議員が両者の討論の場を用意しても  
推進派の医師や研究者は多忙を理由に出席を拒否  
多忙の理由は頻繁なワイドショー出演？

# 「疑惑のファイザー論文」 有効率95%は嘘？…コロナワクチンの本来の効果

## ファイザー社論文で提示された数値

	ワクチン接種あり	ワクチン接種なし
総人数	18,198人	18,325人
感染した人	8人	162人

$$\frac{8}{162} = 0.049 \dots \text{ワクチンを打っても感染するリスク}$$

$$1 - \frac{8}{162} = 0.950 \dots \text{ワクチンで感染を予防できた割合}$$

**95%**

# 「疑惑のファイザー論文」 有効率95%は嘘？…コロナワクチンの本来の効果

	ワクチン接種あり	ワクチン接種なし
総人数	18,198人	18,325人
感染した人	8人	162人

$$\left( \frac{162}{18,325} - \frac{8}{18,198} \right) \times 100 = 0.84\%$$

ファイザー社の説明  
有効率95%

接種後に発熱があってもPCR検査をしていない例が  
450例ほどあった

接種したのにコロナ感染の可能性が強い人も  
非感染としてデータを作っていた！  
(世間では**改ざん**といわれる行為)

## 高浜市民向けの説明文(抜粋)

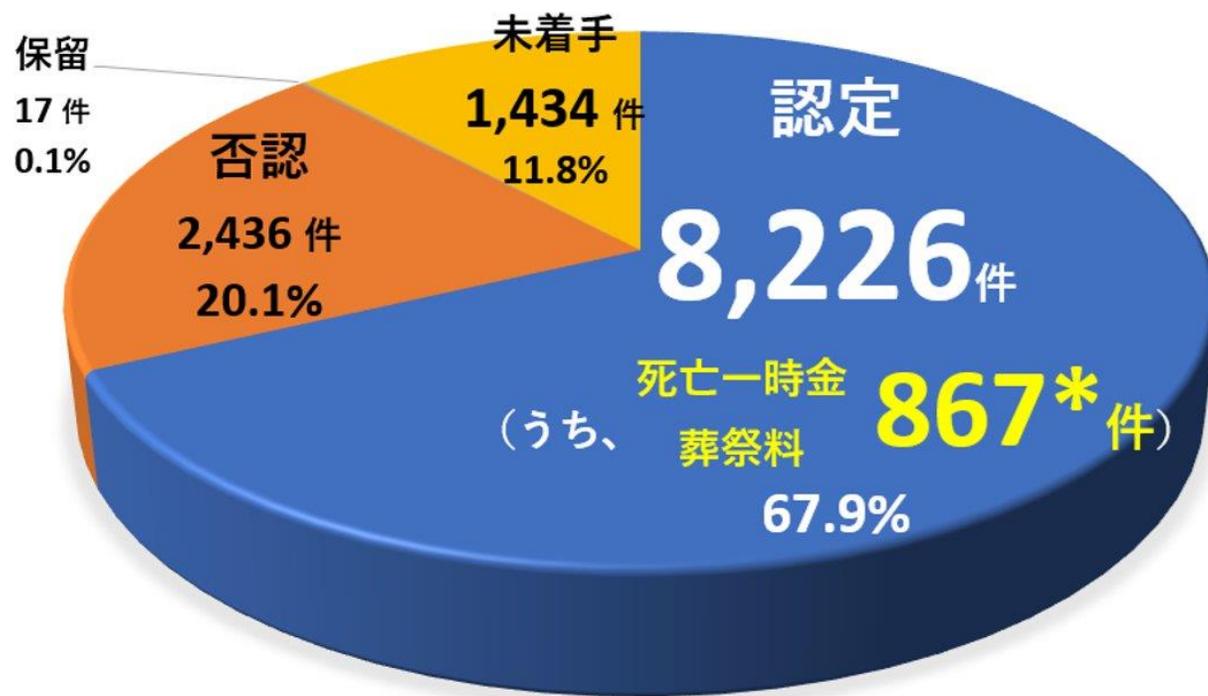
インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症予防接種は、インフルエンザウイルスや新型コロナウイルスの感染を完全に抑えることはできませんが、発熱やのどの痛み等の症状を抑える効果が一定程度認められています。最も大きな効果は、「重症化」を予防することです。

(中略)

効果が十分に持続する期間は2～3か月とされており、重症化予防効果は1年以上一定程度持続するとされています。

# 新型コロナワクチン接種後健康被害救済申請（総数） に関する審査状況

進達受理件数 **12,113**件（令和6年10月7日現在）



※死因問わず、死亡一時金・葬祭料請求に対する認定件数の合計

感染症・予防接種審査分科会感染症・予防接種審査分科会 及び感染症・予防接種審査分科会新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査部会の審議結果より作成

@Yukari Horiuchi (Kamijima)

季節性インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンの  
65歳以上の接種数と救済制度死亡認定数

インフルエンザワクチン

総接種回数 1億7922万1430回  
※2012～2021年度

死亡認定

4名

新型コロナワクチン

総接種回数 1億9336万2873回  
2024年3月19日公表分まで(首相官邸)

死亡認定

620名

2024年9月27日公表分まで

# 予防接種健康被害救済制度 **死亡事例** 認定数 厚生労働省ホームページより集計

2024年9月19日時点

■ 新型コロナワクチン以外  
**死亡認定事例 30件**

■ 新型コロナワクチン  
**死亡認定事例 835件**

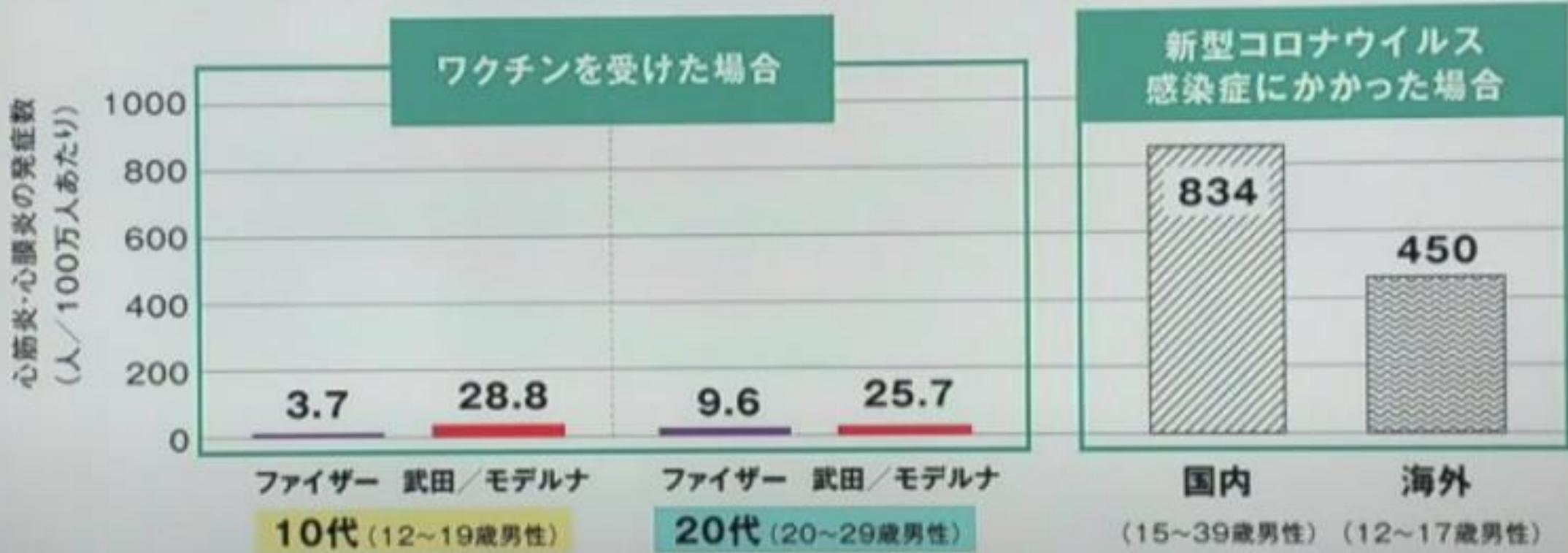


新型コロナウイルス  
予防接種健康被害救済制度  
年代別 死亡認定数

年代	認定数	割合
10代	7	0.8%
20代	28	3.4%
30代	24	2.9%
40代	41	4.9%
50代	77	9.2%
60代	117	14.0%
70代	246	29.5%
80代	218	26.1%
90代以上	77	9.2%
計	835	

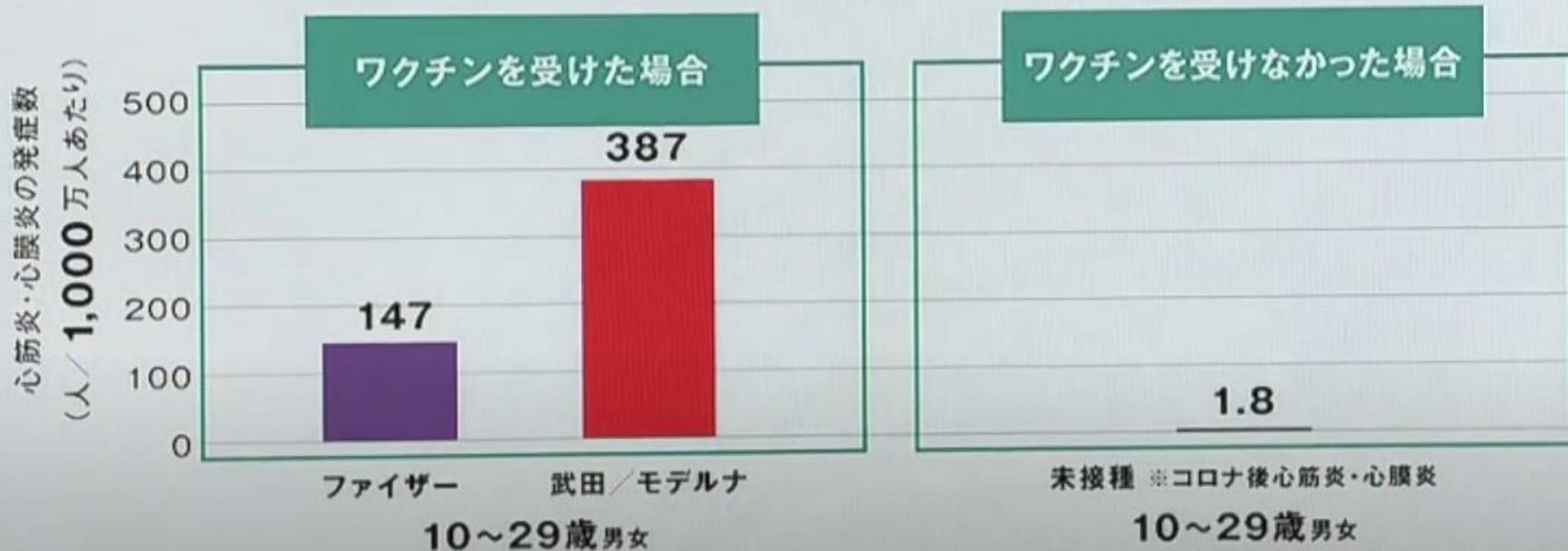
厚生労働省2024年9月19日公表分まで

## 〈 心筋炎・心膜炎が疑われた報告頻度の比較(男性) 〉



出典:第70回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和3年度第19回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会(令和3年10月15日開催)資料

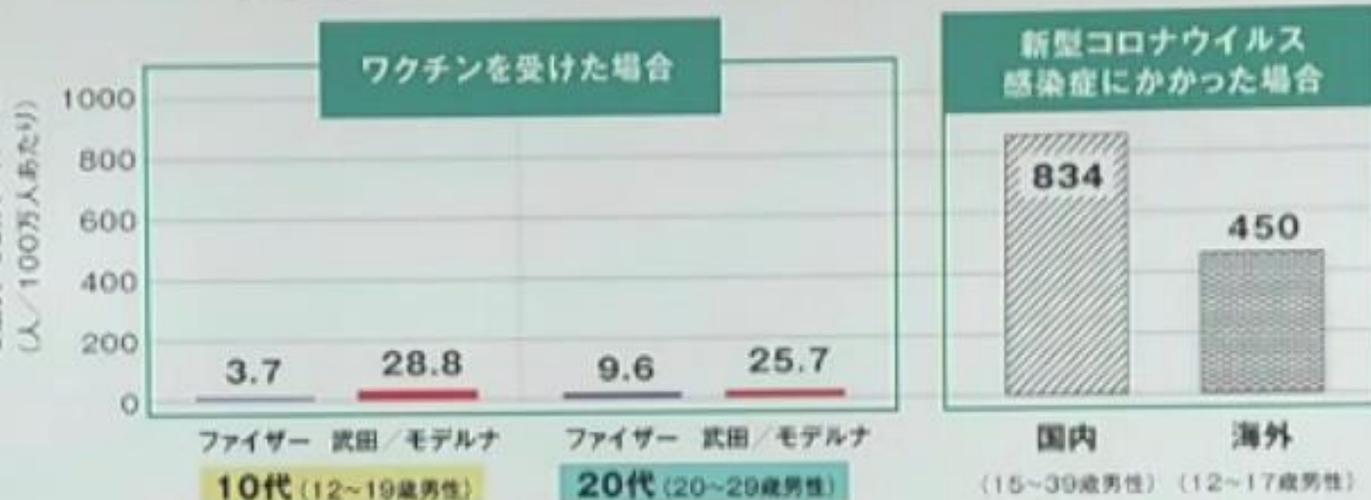
## 〈 心筋炎・心膜炎が疑われた報告頻度の比較 (男女) 〉



出典: 第74回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和3年度第25回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会(合同開催)(令和3年12月24日)資料

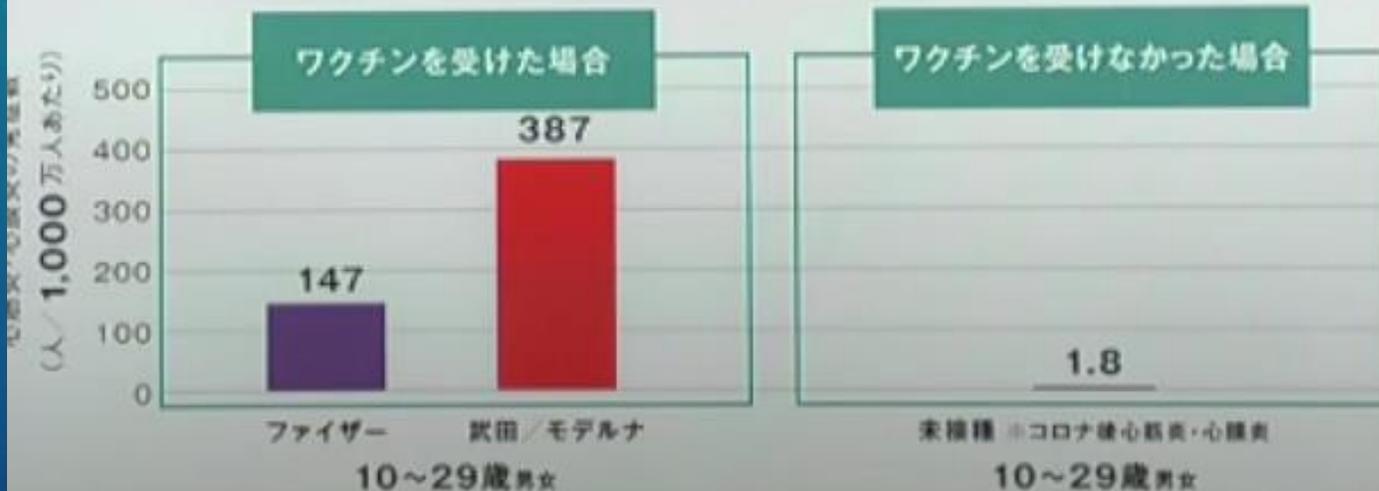
※比較しやすいように1人/1,000万人あたりに単位変更しています

〈 心筋炎・心膜炎が疑われた報告頻度の比較(男性) 〉



※7000例厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和3年度第100回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会(令和3年10月15日開催)資料

〈 心筋炎・心膜炎が疑われた報告頻度の比較(男女) 〉



※7400例厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和3年度第200回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会(令和3年12月24日)資料

※比較しやすいように1人/1,000万人あたりに単位変更しています

# 高浜市民向けの説明文(抜粋)

## インフルエンザワクチン

## 新型コロナウイルスワクチン

### 非常に重い副反応

ギラン・バレー症候群、脳症  
急性散在性脳脊髄炎、けいれん  
肝機能障害、喘息発作、紫斑など

**ごくまれ**ではあるものの、ワクチン接種後に  
心筋炎や心膜炎を疑う事例が報告されています。  
**ごくまれ**ではあるものの、mRNAワクチン接種後  
にギラン・バレー症候群が報告されています。

### 伝えるべき真実

#### インフルエンザワクチン

#### 新型コロナウイルスワクチン

接種回数

3億7,850万回

3億8,360万回

発生数

17人

317人

# 超過死亡とは？

例年から予測される死者数と、実際に報告された死者数を比較した場合の増加分

感染症（特にインフルエンザやCOVID-19のパンデミック）、熱波や寒波などの異常気象、災害、戦争、喫煙や大気汚染などによって引き起こされる

33000人

32000

31000

30000

29000

28000

27000

26000

2019年

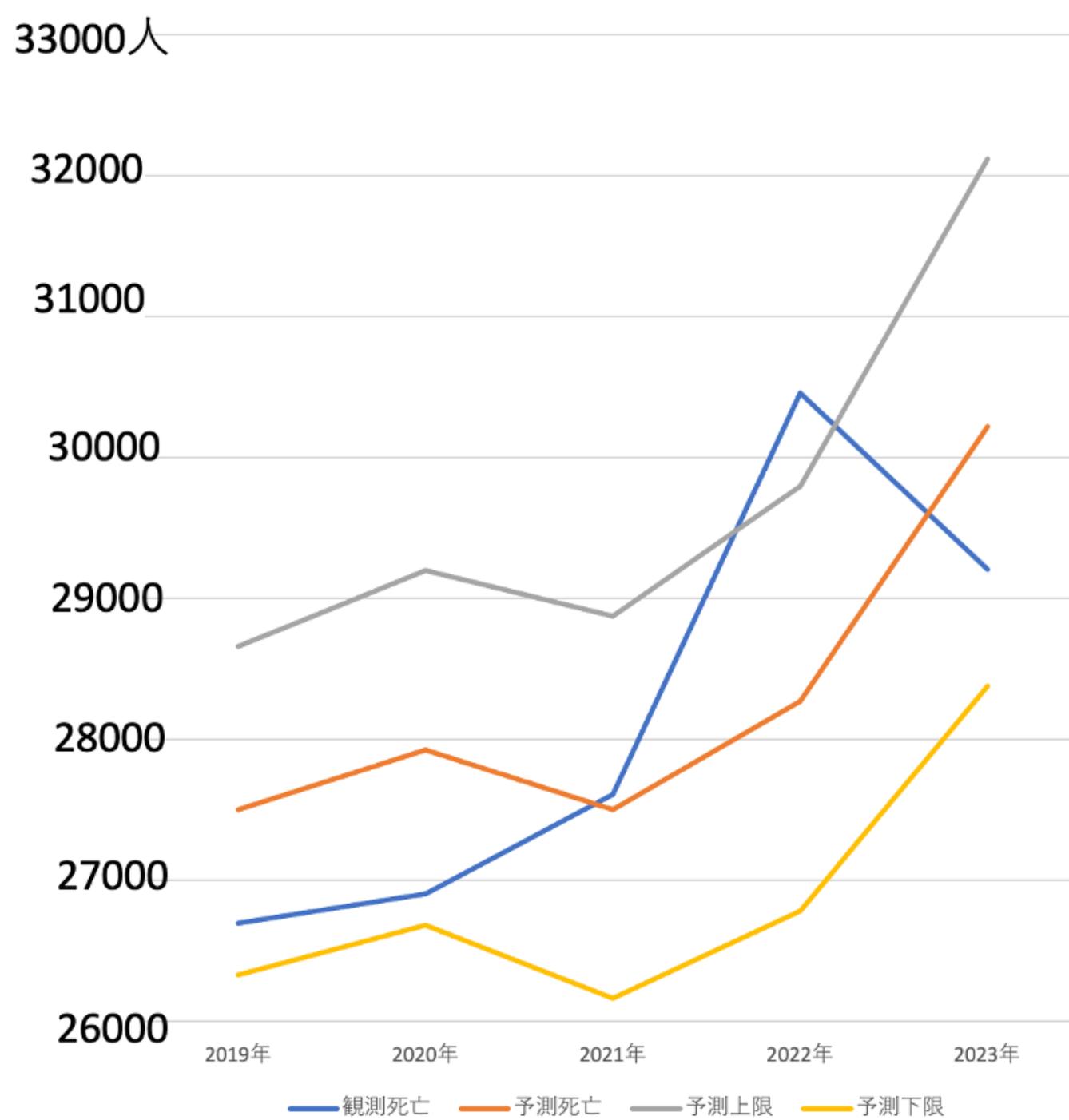
2020年

2021年

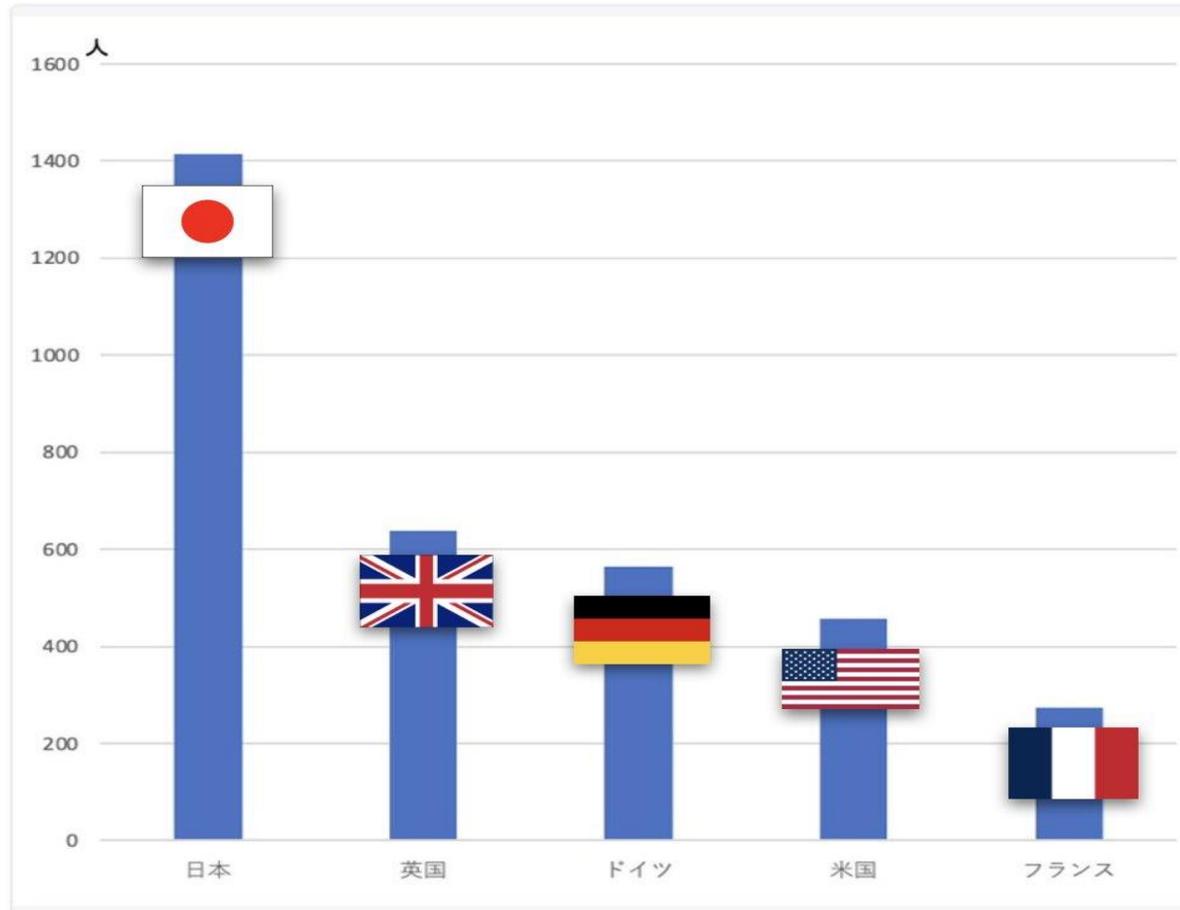
2022年

2023年

— 観測死亡 — 予測死亡 — 予測上限 — 予測下限



# 世界でダントツに打った日本は 超過死亡もダントツでした。



2023年における人口100万人あたりの「超過死亡」  
OECD統計局

# コロナ死者数と 超過死亡数

ワクチン接種が増えると  
感染者も超過死亡も増える

